一．次の傍線部の意味を考え、訳の空欄を埋めなさい。

1　つれなく知らず顔にて、かけて思ひ寄らぬさまに、

【訳】よそよそしく何食わぬ顔で、〔　　〕心当たりがない様子で、〔　　〕

2　さしたる事なくて人のがり行くは、よからぬ事なり。

【訳】〔　　〕事がないのに、人のもとに行くのは、よくない事である。〔　　〕

3　ゆめこの雪落とすな。

【訳】〔　　〕この雪を落とすな。〔　　〕

4　かやうの物をば、構へて調ずまじきなり。

【訳】このような動物（狐）は、〔　　〕。〔　　〕

5　今はよも烏に取られじ。

【訳】今となっては〔　　〕烏に取られることもないだろう。〔　　〕

6　この雪いかが見ると、一筆のたまはせぬほどの、

【訳】この雪を〔　　〕見るかと、（手紙で）一言もおっしゃらないほどの、〔　　〕

7　いかで月を見ではあらむ。

【訳】〔　　〕月を見ないでいられようか、いや、いられない。〔　　〕

8　徳をつかんと思はば、すべからく、まづその心づかいを修行すべし。

【訳】富を身につけようと思うならば、〔　　〕、第一にその心構えを修行すべきだ。〔　　〕

二．次の傍線部の意味を考え、訳の空欄に入る適切なものを選んで記号で答えなさい。

1　神鳴る騒ぎに、え聞かざりけり。

【訳】雷が鳴る音で、〔　　〕。

〈ア．聞くことができなかった　イ．あまり聞こえなかった　ウ．まったく聞こえなかった　エ．さあ、聞こえないよ〉

2　はやうこの雲と見つるは、多くの蜂の群れて来たるが見ゆるなりけり。

【訳】〔　　〕、この雲のように見えていたものは、多くの蜂が群れになって来たのが見えたのだったよ。〔　　〕

〈ア．なんとまあ　イ．かりに　ウ．はやく　エ．当然〉

三．次の単語の意味を考え、空欄を埋めなさい。

1　あたかも…ごとし

①〔　　〕

四．次の単語の意味を考え、空欄に入る適切なものを選んで記号で答えなさい。

1　いさ…

①〔　　〕

〈ア．さあ…　イ．どうしても…　ウ．おそらく…　エ．決して…〉

2　たとひ…とも

①〔　　〕

〈ア．どうして…か、いや、…ない　イ．かりに…としても　ウ．まさか…ないだろう　エ．まるで…のようだ〉

五．次の文中から傍線部と呼応する副詞を抜き出しなさい。

1　かしがましく、かくな人々いひさわぎそ。　〔　　〕

2　〈私は〉この一両年は隠れ居候ひて、人にもいたく見知られ候はず。　〔　　〕

六．次の空欄にあてはまるものを選び、記号で答えなさい。

1　〔　　〕我が親のいひし月日の、とく来かしと待ち侍りつ。

〈ア．ゆめ　イ．あたかも　ウ．かまへて　エ．いさ　オ．いつしか〉　〔　　〕

七．次の傍線部を現代語訳しなさい。

1　〈あるお方が〉むげに老い衰へ御世も末になりて、往事（そのかみ）参り馴れて侍りけむ人もをさをさなく、今の世の人もはかばかしく参ることもなし。

一.
1 少しも
2 たいした
3 決して
4 決してこらしめてはならないのである
5 まさか
6 どのように
7 どうして
8 当然

二.
1 ア
2 ア

三.
1 まるで…のようだ

四.
1 ア
2 イ

五.
1 な
2 いたく

六.
1 オ

七.
1 ほとんどなく、